

より多くのなかまを職場で迎えよう

2020年9月20日号
第198号

毎月2回5日・20日発行

発行所

東京都千代田区霞ヶ関2の1の3 国土交通労働組合
電話(03)3580-4244 F A X (03)3593-0359
URL: http://kokkoroso.or.jp/
発行者: 安藤 高弘
1部20円(組合員の購読料は組合費に含む)



2020年9月20日 国交労組 第198号 (通巻1354号) 昭和37年12月3日 第三種郵便物認可

国交労組

なかまとの結びつきを強めて

「新たなたたかい」をすすめよう

第10回定期大会
9月5~19日 書面開催

国土交通労組は9月5~19日にかけて、第10回定期大会を書面により開催し、代議員132人をはじめ、総勢155人が参加しました。大会ではコロナ禍における各職場の課題や、国民を守るための行政の在り方、コロナ禍を乗り越えた、さらなる組織の発展について、大いに議論が交わされ2020年度の運動方針を決定しました。

安藤中央執行委員長あいさつ(要旨)

変わりゆく環境に立ちむかう

コロナ禍によって、いま、世のなかが大きく変化しようとしており、「新たな日常」、「新しい生活様式」といった形で、これまでとは異なる社会構造がつくられようとしている。

今回のコロナ禍をうけて、世のなかがおかしな方向にむかっているのではないかと懸念をしている。具体的には、「自衛隊」、「コロナ自警団」などといった、他者をいじめ、差別する風潮が高まってしまうことがある。コロナに関する差別やハラスメントが各地で頻発しているのは、「自分もいつコロナにかかるか分からない」という不安の裏返し、一種のストレスによるものだとされている。

また、テレワークの推進など、強制的な形での仕事のリモート化がすすめられようとしている。緊急避難的な意味合いではなく、恒常的な働き方

であった。その結果、今日の現実は、低賃金の非正規労働者が全労働者の4割近くも占め、ワーキングプアといったワードも聞かれるなど、国民全体の暮らしは年々、悪化し続けている。

集団で、ともに生きるという心

テレワークにしろ、フリーターにしろ、本来の考え方は良いものと思うが、使用者が画策する働き方は、「資本家による搾取」に他ならないものと考えざるべきであり、私たち労働者側の立場からは、短期間、短時間働いたとしても、その働いた分は正規労働者と同じの賃金とすること、医療や年金など社会保障が等しく適用されることなど、労働者間の均等待遇がはかられない限り、多様なライフスタイルを確立することは困難である。

義したり、集団の利益よりも個人の利益を優先させたりする心理・行動傾向を持つとされている。一方、「集団主義」は自己概念を対人関係や集団所属性によって定義したり、また集団の利益を個人の利益よりも重視させる、個人利益と集団利益を一致させる傾向を持つとされている。

基本に忠実に とりくみは着実に

テレワークにしろ、フリーターにしろ、本来の考え方は良いものと思うが、使用者が画策する働き方は、「資本家による搾取」に他ならないものと考えざるべきであり、私たち労働者側の立場からは、短期間、短時間働いたとしても、その働いた分は正規労働者と同じの賃金とすること、医療や年金など社会保障が等しく適用されることなど、労働者間の均等待遇がはかられない限り、多様なライフスタイルを確立することは困難である。

「他人のことは構わない。自分さえ良ければ」といった個人主義的な考え方をもち、自分たちも増え、労働組合に加入すれば、自分の要求よりも全体の要求が優先されるという誤解した集団主義で組合を倦厭する傾向もあるのではないだろうか。

テレワークにしろ、フリーターにしろ、本来の考え方は良いものと思うが、使用者が画策する働き方は、「資本家による搾取」に他ならないものと考えざるべきであり、私たち労働者側の立場からは、短期間、短時間働いたとしても、その働いた分は正規労働者と同じの賃金とすること、医療や年金など社会保障が等しく適用されることなど、労働者間の均等待遇がはかられない限り、多様なライフスタイルを確立することは困難である。

労働運動において、労働者が個人主義に陥り、バラバラになってしまえば有効なとりくみは行えず、労働組合という存在さえも危うくなるだろう。現代社会において、労働組合が存在しなくなれば、どうなるのかはいわずものな、だと思つ。

テレワークにしろ、フリーターにしろ、本来の考え方は良いものと思うが、使用者が画策する働き方は、「資本家による搾取」に他ならないものと考えざるべきであり、私たち労働者側の立場からは、短期間、短時間働いたとしても、その働いた分は正規労働者と同じの賃金とすること、医療や年金など社会保障が等しく適用されることなど、労働者間の均等待遇がはかられない限り、多様なライフスタイルを確立することは困難である。

もちろん、労働組合は集団主義を基本にしているが、個人の利益より集団の利益を優先すべしというのではない。それは労働組合の生い立ちが、「一致する要求で団結する」であることから、当然、個人個人の利益があ

テレワークにしろ、フリーターにしろ、本来の考え方は良いものと思うが、使用者が画策する働き方は、「資本家による搾取」に他ならないものと考えざるべきであり、私たち労働者側の立場からは、短期間、短時間働いたとしても、その働いた分は正規労働者と同じの賃金とすること、医療や年金など社会保障が等しく適用されることなど、労働者間の均等待遇がはかられない限り、多様なライフスタイルを確立することは困難である。

節目となる第10回定期大会を特別な形で実施するにあたって、組織や運動に対する疑問なども含め、また日々、職場で起きている問題など、全国のなかまが課題や問題点を共有し、そしてこの一年間、いっそう奮闘していく決意を固め、あつと、全国のなかまが心からつながっていくこととなるようお願いして、第10回定期大会開会のあいさつとさせていただきます。



『みんなで考え、みんなで決め、みんなで行動する』ことをともに行動することを訴える、安藤中央執行委員長

テレワークにしろ、フリーターにしろ、本来の考え方は良いものと思うが、使用者が画策する働き方は、「資本家による搾取」に他ならないものと考えざるべきであり、私たち労働者側の立場からは、短期間、短時間働いたとしても、その働いた分は正規労働者と同じの賃金とすること、医療や年金など社会保障が等しく適用されることなど、労働者間の均等待遇がはかられない限り、多様なライフスタイルを確立することは困難である。